

文化・芸術

「双鶴（なべつる）」

1964年ごろ、紙本彩色
32・0センチ×23・5センチ

山口華楊（1899～1984年）

金色の背景に立つ2羽の鶴。1羽は体をこちらに向け、もう1羽は体が向こうを向いているが、2羽とも私たち鑑賞者のことを少し気にしているようです。作者の山口華楊は、京都の友禅の染色を生業とする家に生まれ、17歳で文展に初入選。1981年には文化勲章を受章しています。小品ながら気品あふれる本作は、音響メーカー「パイオニア」の創業者、松本望・千代夫妻のコレクションだったものです。夫妻の300点にも及ぶコレクションは、一括して当館に寄贈されています。

大川美術館企画展から

現在、展示室5では「特集展示 冬のイメージ」を開催しております。本作をはじめとして、上村松園「初雪」や伊東深水の「京茶碗」など、冬の季節にふさわしい作品をご覧いただけます。大川美術館は年内、12月27日まで、年始は1月4日から開館しておりますので、ぜひお越しください。名画の扉も今年最後の掲載となりました。本年もご愛読いただき、ありがとうございました。

（池田）

〈名画の扉〉

